



## 新年ごあいさつ

加古川市長  
岡田 康裕

新年、あけましておめでとうございます。

令和6年の新春を、ご健勝にてお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

加古川商工会議所会員の皆様には、平素より加古川市政、とりわけ商工業の振興に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去年は5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、各種イベントや事業が再開されるなど、徐々に社会経済活動が活発化しています。一方で、エネルギー・食料品価格等の物価高騰が社会経済に大きな影響を与え、事業者の皆様におかれましては、依然として厳しい経営環境が続いていることと思います。

このような状況の中、本市におきましては以前よりご好評をいただいております「キャッシュレス決済事業者と連携したポイント還元キャンペーン」を実施し、飲食店をはじめとした市内の様々な業種の売上向上を支援してまいりました。また、空き店舗等活用支援事業補助金の対象業種を、これまでの飲食業、小売業に加え、生活関連サービス業に拡げるとともに、加古川河川敷を活用した「かわまちづくり」の取組では、開催されるイベントが本市の風物詩としても定着してまいりました。これらの取組を一体的に推し進め、J R加古川駅前の中心市街地等の賑わい創出に取り組んでいるところです。今後も引き続き、事業者の皆様に向けた各種支援施策の実施をはじめ、市内の経済活性化のための施策を進めてまいります。

加古川商工会議所におかれましては、令和4年度から「ふるさと納税返礼品開発特別委員会」を立ち上げられ精力的に活動を展開していただいたことで、参画事業者や返礼品数も増加し、令和4年度は寄附総額が初めて4億円を上回りました。また、昨年7月に加古川プラザホテル1階に移転した一般社団法人加古川観光協会との連携による、新たな返礼品の開発などにも一層のご協力をいただいているところであり、重ねてお礼申し上げます。

世界情勢の不安定さや物価高騰等は未だに見通しが立たない状況が続いておりますが、本市が目指す「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川」を実現するためには、複雑多様化する市民ニーズや社会情勢に行政が的確に対応していくことはもちろんのこと、市内事業者の皆様のご協力がなければ成し遂げられません。本年も、加古川商工会議所をはじめ関係機関と連携を図りながら、商工業の振興に全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様の益々のご活躍と本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。